# Abstract of Japanese Utility Model Laid-Open Publication No.7567/1991

This Japanese Utility Model provides a lubricating mechanism of a differential device comprising a housing (21) pooling lubricating oil, a final gear mechanism (22) stored in the housing (21), and a differential gear mechanism (23) stored in the housing (21) and having a case (27) combined with the final gear mechanism (22) integrally, the lubricating mechanism lubricating respective lubricating object portions of the final gear mechanism (22) and the differential gear mechanism (23) with the lubricating oil in the housing (21),

being characterized by comprising a pomp (51) stored in the housing (21) while driving and connecting with the case (27) of the differential gear mechanism (23) and sucking the lubricating oil in the housing (21), and

lubricating oil feeding mean which guides and feeds the sucked lubricating oil by the pomp (51) to the predetermined lubricating object portions.

## 19日本国特許庁(JP)

①実用新案出顧公開

#### ® 公開実用新案公報(U) 平3-7567

@Int.Cl. \*

織別配号 庁内整理番号 四公開 平成3年(1991)1月24日

F 16 H 57/04

В 9031 - 3 J

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

**図考案の名称** デイフアレンシャル装置の潤滑機浩

> ②実 顧 平1-68672

220出 願 平1(1989)6月13日

四考 案 者 大 和 田 正次

弁理士 有我 軍一郎

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地 日産自動車株式会社

勿出 顕 人 日産自動車株式会社 70代 理 人

神奈川県横浜市神奈川区宝町2番地

## 匈実用新案登録請求の範囲

潤滑油を貯溜するハウジングと、ハウジングに 収納されたフアイナルギャ機構と、ハウジングに 収納され且つ前記フアイナルギャ機構と一体的に 結合されるケースを具備するデイフアレンシャル ギヤ機構と、を備え、ハウジング内の潤滑油によ りフアイナルギヤ機構およびデイフアレンシャル ギャ機構の各潤滑対象部を潤滑するディフアレン シヤル装置の潤滑構造において、前記ハウジング に収納されるとともに前記デイフアレンシャル機 構のケースと駆動結合し、ハウジング内の潤滑油 を吸い上げるポンプと、ポンプにより吸い上げら れた潤滑油を所定の前記潤滑対象部に導き供給す る潤滑油供給手段と、を設けたことを特徴とする デイフアレンシャル装置の潤滑構造。

### 図面の簡単な説明

第1,2図は本考案に係るデイフアレンシャル

装置の潤滑構造の一実施例を示す図であり、第1 図はその上面断面図、第2図は第1図におけるX -X矢視断面図、第3,4図は従来のディフアレ ンシャル装置の潤滑構造を示す図であり、第3図 はその正面断面図、第4図はその要部側面断面図

21……ハウジング、22……フアイナルギャ 機構、23……ディフアレンシャルギャ機構、 {24……ドライブピニオン、25……リンクギ ヤ、31……ピニオンメートギヤ、32, 33… …サイドギヤ、36,37……多板摩擦クラッ チ》(潤滑対象部)、27……デフケース (ケー ス)、51……ポンプ、{58……油圧配管、5 9,60……吐出ノズル〉(潤滑油供給手段)。

